

## 「大連市で食品安全キャンペーンを実施」

趙 万利

中国国内では、過去に何度も食品汚染問題が発生してきた経緯があります。野菜、米、果物、茶葉などの残留農薬、危険な農薬の検出、違法添加物の使用、重金属汚染等による有毒食品…等々。このような食品汚染問題を引き起こす最大の要因が、「企業モラル」にあることは明らかです。そのため、食品安全を確保するには、政府が監督管理するだけでなく、消費者がつねに監視する役割を果たし、企業が自ら「企業モラル」を自覚することが不可欠です。

## ＜市民により検査対象を選ぶ事前投票＞

こうした中、今年3月に、大連市市場監督局は、「大連市場監管」、「大連発布」などの主要メディアや政府のWeChat公式アカウントを通じて、市内全域で「你点我検（あなたが選び、私が検査する）」という食品安全キャンペーンを実施し、市民から食品の安全性に懸念があると思われる対象食品の選択を、投票形式で募りました。投票の手順は、まず、大連市の専用サイトにアクセスします。そこに掲載してある食品と販売場所のリストから、サンプリングしてほしい食品や気になる点にチェックを入れて投票します。大連市市場監督局はそれらを収集して検査対象を決め、サンプリングした食品に封印シールを貼り、検査機関へ送ります。すべての検査は6月25日に完了しました。

この検査の目的は、サンプリング検査の結果、不適合だった食品を検出・処分することで、食品安全性を高めることにあります。



「食品安全検査サンプルの封印シール」が貼られた食品。この後に検査機関で検査を受ける

こうして集めた21,902票の中から、流通、ケータリングサービス、スーパーマーケット、卸売市場など、さまざまな規模の業界に焦点を当てたサンプル検査が行われました。

## ＜サンプル検査＞

スーパーマーケットからサンプル品として調達した食品は、サンプル収集スタッフにより大連市検査・検査・認証技術サービスセンターの食品検査・検査研究所へ送られ、農薬、ステロイド系抗炎症薬や防腐剤などの残留検査が行われました。

7月12日に大連市市場監督局より検査の結果、不適合品が検出されたことと、合格率が98.33%であったことが発表されました。

製品が不適合品となった原因には、生産加工用に使われる水が食品生産用の基準を満たしていない、製造環境の清潔さが不十分である、不適切な滅菌処理工程、保管条件の不適合、不十分な容器の洗浄、従業員の衛生管理が不適切であるなどの要因がありました。

結果を受けて大連市市場監督局は、食品安全法、その他の法律や規制、国家市場監督管理総局（SAMR）の関連規定に従って処分措置を行いました。また、食品リスクの警告情報を公表し、関連する地域に日頃からサンプリング情報を通知して管理、法執行のための技術的支援を提供しています。



検査の様子  
(出典：写真はいずれも百度より)

「你点我検」食品安全キャンペーンは、食品安全への取り組みを効率的に行うのに最適なイベントだと評価されており、中でも大連市は食品安全検査の合格率が高いことで知られています。